

農業用ロボット開発促進

県議
知事答弁会

研究会を近く発足

県議会6月定例会は27日、代表質問を行い、自民党改革会議の相坂慎治氏(静岡市駿河区)とふじのくに県民クラブの中沢通訓氏(同市清水区)が質問した。農林水産

業の競争力強化の具体策を尋ねた相坂氏に対し、川勝平太知事は本年度から本格着手した「先端農業推進プロジェクト」を説明。ミカンやイチゴなど本県特産物の生産性を高める技術研究に加え、農作業の省力化を実現する農業用ロボットの開発も促進する考えを述べた。

知事は、小型無人機「ドローン」を使い植物の栄養状態を上空から感知する県農林技術研究所の技術研究などを紹介した上で、「本

月に第1回セミナーを開き、農業の現場とのマッチングを図ること

先端農業推進プロジ

エクトは、沼津市の東海大開発工学部跡地の一部を拠点整備して展開する。知事は本県の強みとされる「農業」「食」「健康」が連携した新産業創出を同拠点で進めるため、「研究開発テーマを公募し、研究の多様化、具体化を図っていく」と答弁した。
(政治部・風間ほえみ)

くりの技術を持つ企業と連携し、農業ロボット研究会を立ち上げる」と答えた。県農業局によると、研究会は県内の製造業者や生産者団体などが参加して近く発足予定。8



静岡新聞